



せたがや 介護ネットニュース

第35号

発行日：平成25年4月26日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

電話：03-5429-3100

通所連絡会 第5回定例会報告

せたがや通所連絡会では、平成24年度最後の第5回定例会を平成25年3月19日（火）に成城ホール集會室CDで開催しました。テーマは「情報交換会」で、17事業所24名の参加となりました。4つのグループに分け、「加算について」「通所介護計画書について」「人気のあるプログラム」「その他、災害について」と参加者が好きなグループを選んで、お互いの施設の状況や疑問に思っている事を話し合いました。新しく立ち上げた事業所より参加された方は、「知らない情報もあり、とても参考になりました」との声もあり、アンケートもとても良かったと答えた方が多くいらっしゃいました。他の施設で実施されているプログラムや家族会、満足度アンケートなどこのテーマならではの目からうろこの情報をお互いに交換し、とても有意義な時間だったのではないのでしょうか。最後には、施設間で見学会の実施を提案するなど大盛り上がりでした。

通所連絡会は平成25年度も様々なテーマで研修会を実施し、情報の提供、また共有を図っていきたくと考えています。介護ネットに未入会の方は是非、世田

谷区人材育成・研修センターまでお問い合わせをお願いします。

せたがや通所連絡会 幹事
デイホーム三宿 河合靖子



連載 薬局からこんにちは(16) ～お薬の副作用について～

年齢を重ねるにしたがって、薬を服用する機会が増えてきます。また、年齢がすすむほど薬の副作用が起りやすくなります。今回は高齢者と薬の副作用についてお話ししたいと思います。

まず、副作用とは、薬の期待した効き目以外の作用のことを示します。予想外の作用があらわれたり、予想した効き目よりも強く作用する場合があります。

ではなぜ、高齢者は副作用が起りやすくなるのでしょうか。1つめの理由として、高齢者は複数の病気にかかっていることが多く、使用している薬剤が多いことがあげられます。複数の薬を同時に飲むことで、薬と薬がお互いに影響しあい、効き目が変わったり、思いがけない



副作用を引き起こすことがあります。2つめの理由として加齢による体の変化があげられます。加齢によって身体機能が低下し、肝臓で薬を分解する力や腎臓で薬を体の外に排出する力が低下します。これにより薬の排泄に時間がかかり、薬が体の中に長くとどまるため、副作用が起りやすくなります。また、体の中の水分は年齢とともに減少し、かわりに脂肪が増えてくるため、脂肪と相性の良い薬は体内にたまりやすくなります。その結果薬が強く効きすぎて、副作用が起りやすくなります。

薬の副作用は必ず起こるわけではありませんが、薬と上手に付き合っていくために自分が飲んでいく薬について知っておくことが大切です。そのためにお薬手帳をもつことも効果的です。

薬局成城ファーマシー祖師谷店 大山孝子

訪問介護連絡会第3回定例会「リスクマネジメント」報告

訪問介護連絡会では、3月21日今成文紀弁護士を講師に、訪問介護事業所におけるさまざまなリスクを考え、回避するには日ごろどのようにしておけばよいのか、例えば契約書の書き方や、計画書の中に織り込むことで回避できる場合があるなど。不幸にも起こってしまったときは、謝罪や弁済ですむことの対処の方法など、どうすればよいのか、謝罪のタイミングなどを勉強しました。そして、裁判になったときの、法の解釈はどうなっているのか、ということを通じた、参加者同士話し合い発表しました。

そして、事故が起こったときの責任は誰か？など。使用責任についても説明を頂きました。

研修は今成弁護士の親しみやすいキャラクターに加え、グループでの話し合いや、参加型研修により和気藹々でした。

参加者の方のアンケートからは「介護事故のリスクを



把握することが大切だと感じた」

「ありうることなので真剣に取り組むことができた」「現状に直面する問題と法律に矛盾を感じた」などたくさんの感想をいただきました。

好評でしたのでまた機会があれば違う視点での研修も行いたいと思います。

24年度たくさんの皆様ご参加ありがとうございました。現在訪問介護事業所の約6割が介護ネットに加入されていますが、25年度は、世田谷で従事する全訪問介護事業所が介護ネットの会員になっていただき、一緒に考え、訪問介護事業所の質向上を目指したいと思っています。

事業所が連携するのは今でしょ！

訪問介護連絡会代表 宮川英子



在宅介護経営部会から

在宅介護経営部会では平成24年度から「地域における連携」をテーマとして、ある程度限定された地域の中で事業所の連携を探ってきました。数回の議論を重ねる中で「他事業種との連携」の前に会員事業所間の連携について、とくに訪問介護事業所同士の連携方法を考えるべきであるとの結論に達しました。平成24年度の法改正により、生活援助を含むサービスに関しては事業所ごとにサービス時間が異なる現象が出てきたこともあり、利用者への説明が難しくなっている事業環境の中で、利用者にとってメリットがあり、かつケアマネジャーが利用しやすいシステムを構築したいと考えています。具体的には、以下を考えています。

- ① モデル事業として世田谷地域とその近くにある事業所がグループを形成してサービスを提供する。
- ② 窓口事業所を1事業所にしぼり、サービス依頼があったら協力してサービスを提供する。このこと

により、ケアマネジャーが行っている事業所探しの手間を大幅に削減できる。

- ③ サービス時間を統一することで、利用者にとって分かりやすくなる。
- ④ 助成金などを利用して求人や研修を実施できる。

しかし、連携をするために超えなければならない障壁がたくさんあります。平成25年度には様々な障壁を乗り越えて、パイロット事業を施行することを目指しています。①サービス時間の統一、②契約内容の統一、③自費の扱いの統一、④各書式の統一、⑤公平な運用などの障壁があります。

平成25年度は5月末か6月に定例会を開催します。地域外の事業所でも参加できますので、ご興味のある方は是非ご参加下さい。

在宅介護経営部会 武井昭

スポット研修「今さら聞けない介護保険」報告

昨年4月の介護保険改正からその後、まだまだ混乱している方もいらっしゃるだろう、たとえば生活援助の時間や、今後の見通しなど。ということで、介護保険のことを勉強しようと企画しました。

ホームヘルパー全国連絡会事務局長の森永伊紀氏を講師に、「介護保険制度」のお話をいただきました。

森永氏のお話から、生活援助が短くなったのはなぜか？その理由や、生活援助に対する区の考え方、また、ヘルパーが行う医療行為についても触れていただき、実は「介護保険でできないことは何もないのだ、個別に必要なケアは担当者会議で話し合いながら行ってよい」など。まさに、いまさら聞けない介護保険の内側を教えていただきました。

参加者の皆様には「難しく理解できなかった」、「もう少し時間がほしかった」などのご意見や「基礎知識がない中参加して難しかったが、新たな知識を得られよかった」、「介護保険の制度の裏事情が聞け面白



かった」、「今後の介護保険の行方について参考になった」など前向きなご意見などありました。

伝えたいこと、情報として知ってもらいたいことはたくさんあります。今回の研修はお仕事帰りでお疲れの方にとっては難しい研修だったかもしれませんが、制度のことは、今後もゆっくり時間をかけて少しずつ理解する機会をつくりたいと思います。まずは事業所として何をすべきか、どう考えるのかの参考になれば幸いです。

24年度の研修にはたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

研修グループの幹事は、すべてボランティアでかかわっています。行き届かない点が合ったと思いますが、どうか寛大に見てください。25年度もまた企画満載ですので、ぜひご参加ください。

研修グループ代表 宮川英子



世田谷区介護サービスネットワーク運営委員会から

総会開催について

世田谷区介護サービスネットワークの総会を下記のとおり開催します。お忙しいことと存じますが是非ご参加下さい。

開催日時：平成25年5月21日（火）午後7時から8時30分まで

会場：成城ホール集会室CD（世田谷区成城6-2-1）

議案：平成24年度事業報告・決算、平成25年度事業計画・予算、新運営委員、規約改正などの審議と承認。

終了後に名刺交換会を開催します。

議案は一部を除き事前配布します。委任状を同封しますので、参加できない場合は5月15日（水）までにご返送下さい。

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

*日付の入っていないものは開催予定月。かつこ内はテーマです。詳しい情報は後日ファックスまたは郵便でお知らせします。また、ホームページでも最新情報を発信しますのでご覧ください。

<http://www.setagayaj.or.jp/kaigo/>

◆世田谷区介護サービスネットワーク総会

平成25年5月21日(火) 19:00~21:00

会場：成城ホール集会室CD

*5月8日に議案を発送します。



◆研修グループ☆

1) 第1回感染症研修

「室内感染」

講師：世田谷保健所生活保健課長

平成25年6月19日(水) 18:30~20:30

会場：三茶しゃれなあどオリオン

◆訪問介護連絡会☆

第1回定例会：「あんしんすこやかセンターとの連携」

協力：区地域包括支援課、27 あんしんすこやかセンター

平成25年6月18日(火) 18:30~20:30

会場：世田谷区民会館集会室

◆在宅介護経営部会☆

第1回定例会：「訪問介護事業所の連携検討会」(予告)

平成25年6月(日時未定)

テーマ：「世田谷地域をモデルとした訪問介護事業所の連携」

会場：未定

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修】☆

1) 認知症ケア研修(入門編)

平成25年5月14日(火) 14:00~17:00

会場：成城ホール集会室

2) 介護技術スキルアップ研修

平成25年5月14日(火) 14:00~17:00

会場：研修センター

3) サービス提供責任者研修(新任)

平成25年5月20日(月) 14:00~17:00

会場：研修センター

4) ケアマネジャー研修(現任1)

平成25年5月22日(水) 14:00~17:00

会場：研修センター

5) ケアマネジャー研修(現任2)

平成25年6月6日(木) 14:00~17:00

会場：社会福祉事業団本部

6) ケアマネジャー養成研修

平成25年6月12日(水) 14:00~17:00

7) 介護技術フォローアップ研修

平成25年6月13日(木) 9:30~16:30

会場：研修センター

8) 認知症ケア研修(基礎1)

平成25年6月18日(火) 14:00~17:00

会場：烏山区民会館集会室

9) メンタルヘルスの視点からの職場運営

平成25年6月19日(水) 14:00~17:00

会場：研修センター

10) ケアマネジャー研修(新任2)

平成25年6月24日(月) 13:30~17:00

会場：世田谷区民会館集会室

☆ 詳しくは下記にお問い合わせください。

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：5429-3100

◆【その他のイベント】

1) 特別講演会

「ドイツ介護保険の現在」

～ドイツ介護保険認定医師講演～

日時：平成25年5月17日(金) 18:30~21:00

会場：世田谷区民会館集会室(定員200名)

主催：世田谷社会福祉士会

後援：世田谷区介護サービスネットワーク

申込み方法：氏名、所属、電話、FAX、メールアドレスを記載して、NPO わかば(FAX: 5712-5186) に FAX でお申し込み下さい。

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月奇数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

編集後記

◆研修や講演会のシーズンになります。新年度を迎えどの事業所も業務に追われていることと思いますが、気分転換と視野を広げるためにちょっと無理をしてはどうでしょうか。◆今年は運営委員改選の年です。すでにかなりの応募がありまし

た。新メンバーには是非新しい視点から、アイデアを出していただき、世田谷区介護サービスネットワークを活性化したいと思います。しくお願います。◆「目に青葉 山ほととぎす 初ガツオ」春の味覚を楽しむと長生きするとか。でも、食べ過ぎに注意。(KT)

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研修センター
電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101